

海外自治体幹部交流協力セミナー2011(北京事務所) 地方交流事業概要

【地方交流事業】

11月9日(水)【移動(東京→静岡市)/講義/視察】

(1)紅葉山庭園視察

日本庭園を鑑賞した後、庭園内の茶室で茶道について理解を深めた。日本文化に対する関心は高く、非常に興味をもたれた。

(2)講義1「静岡市の概要及び議会制度」

静岡市の様々な取り組みのほか、四季折々の自然、歴史、特産物など市の魅力を紹介していただいた。

また、議場で地方議会の仕組みについて講義を受けた。「市内に住む外国人の数」「政令市の位置づけ」「議会中に傍聴者は質問をすることができるのか」等、たくさんの質問があった。

講義2「静岡市自治基本条例」

政令市移行に合わせ市民の声を反映した自治基本条例を制定したことやその内容等について講義を受けた。「条例の制定者」「国や県の規定と抵触する場合の対応について」等の質問があった。

講義3「静岡市のシティープロモーション」

地域資源を活かした静岡市の戦略、ねらい等を紹介していただいた。「帰国して静岡に行ってきたと言ってもわかってもらえないが、富士山の麓にある静岡市に行ってきたといえば中国人はわかる」といった、売り込み方法についてヒントとなる提案も出された。

(3)歓迎レセプション

市内のホテルで、生活文化局長主催の歓迎レセプションが催された。日本剣道形の披露もあり和やかな雰囲気となった。



日本文化(茶道)理解



市議会制度の概要説明

11月10日(木)【市内視察/講義】

(1)日本平/久能山東照宮/河岸の市/エスパルスドリームプラザ/ホビースクエア

テーマ「地域資源を活かしたシティープロモーション」に沿った施設等を視察し、その取り組みについて学んだ。



久能山東照宮視察

(2) 講義4「清水港の概要」

清水港クルーズを体験しながら、貿易港としての取り組みについて等、講義を受けた。

(3) 講義5「地域産業」

静岡の郷土工芸品についての紹介や後継者の育成に対する取り組みについて等、講義を受けた。参加者は、若い世代に継承していこうという市の姿勢に感心されていた。

11月11日(金)【市長表敬/意見交換会/視察】

(1) 市長表敬

20分間の市長表敬が行われた。

(2) 駿府匠宿伝統工芸視察

静岡の郷土工芸品を鑑賞したほか、竹細工の製作体験を行った。

(3) かねだい園視察及びホームビジット

茶畑や茶工場を視察。ホームビジットでは参加者から、「日本人の生活に触れられ、日本に対する理解が深まった」との声が数多く聞かれた。

(4) 帰国前意見交換会

参加者がたくさんの感想を述べられ、予定時間を30分延長した(計2時間30分)がそれでも時間が足りなかった。参加者からは、「中国人の知っている日本は、富士山、東京、大阪といった限られたものであり、このセミナーを通じて公務員や住民の姿を知ることができた」「中国の料理に比べ日本料理は一般に量は多くないが、これが合理的で、日本の理想的な発展に結びついていると感じる」等の意見も出され、お互いの行政制度や生活、文化の違いを知ることができた。



市長表敬



意見交換会



工芸体験